

国民と向き合う心。世界と渡り合う力。 有事の今こそ、河野太郎

有事の今こそ、河野太郎

この言葉に込めた想いをお伝えさせていただきます。ウクライナ、中東、日本を取り巻く安全保障環境。国際的な民主主義の危機。世界で有事が起きています。日本はいま、平時でしょうか？日本の周りでも台湾有事などのリスクが指摘されていますが、国民一人ひとりの周りにも多くの有事が起きています。依然として続く経済の停滞感、物価高、地方の人口減少、少子化、こどもの貧困、ジェンダー格差、老後の不安、孤独・孤立、食糧危機、エネルギー危機、異常気象、災害。誰もが安心して暮らすことができるという日本の当たり前が揺らいでいます。いろいろな有事が生活の中にあります。そんな今こそ我々が責任政党として、有事に立ち

向かうべき時なのに、多くの皆さんが自民党に不満、怒りを感じています。悪いことは悪いと認める、ダメなことは直す。自民党の当たり前も揺らいでいたことを反省して、しっかりと自民党を変えてみせます。私はこれまで、押印の廃止やコロナワクチン接種の推進、デジタル化の促進など、様々な改革を実行してきました。これらの改革は、これまでの改革とは質が異なります。傷だらけになりながらも改革を確実に進めてきた今までの私の経験をすべて活かして進めます。日本国民一億二千万人、一人ひとりがそれぞれの有事と向き合っているなかで、国民とともにあるべき政治の姿を、今一度示します。日本のリーダーになり、この国を、前へ、さらに前へ進めてまいります。

河野太郎



党改革

今こそ、立党精神に立ち返る

『政治は国民のもの』今こそ、立党精神に立ち返るべきだと考えています。自民党が下野した2009年。3年3ヶ月で再び政権与党を奪還できたのも、多くの地方議会で自民党議員が下支えしてくれていたおかげでした。党員の皆さんは厳しい声を届けてくださると同時に、「それでも、やっぱり自民党じゃないとだめだから」と叱咤激励もしてくれています。国民政党、自民党は、全国各地の党員の皆さんとともに築き上げてきたものであり、これからもその精神は変わらないと信じています。

- 今回の政治資金収支報告書への不記載額の返納を求めます。
- 政党・政治家に、民間企業並みのガバナンスとコンプライアンスを徹底します。
- すべての政治資金を、領収書を付けて、速やかに公開させます。

憲法改正

今こそ、憲法改正の実現を

憲法改正は立党以来の党是です。党としての考え方に基づき、国会の議論を加速し速やかな発議を目指します。

- 有事の際の国防を担う自衛隊を明記し、「自衛隊違憲論」を解消します。
- 国会や内閣の緊急事態への対応を強化し、緊急事態においても、政府・国会の機能を維持する仕組みを憲法に規定します。
- 地方・都市部を問わず、選挙において「地域」を持つ意味に目を向けるため、参議院の合区を解消、各都道府県から必ず1人以上選出します。
- 教育の重要性を国の理念として位置づけ、国民誰もがその機会を享受できるよう、私学助成の規定を現状に即した表現に変更します。

外交・安全保障

今こそ、世界の脅威に対抗する

日本の首相として世界と渡り合っていくには、一国平和主義から脱却し、共通の価値観を持つ国々との連携を深め、中国などの脅威への抑止を徹底する必要があります。安保理改革をはじめとして時代に沿った国連憲章の見直しをリードするとともに、同盟国との連携を深めることが重要だと考えています。

- グローバルサウス、特に中東への政治的な関与を深めていきます。
- 自衛隊の継戦能力に資する装備品の安定供給とコスト削減により、防衛産業の基盤強化を図るため輸出を進めます。
- 自衛隊の陸海空及び宇宙、サイバー部隊の配備の適正化を進め、能動的サイバー防御の法制化を進めます。

経済・財政、地域活性化

今こそ、国民の不安感を解消し、閉塞感を突破する

暮らしを豊かにし、孤独・孤立問題を解決して生活の中の将来不安を払拭します。そのためのあらゆる阻害要因を取り除くことにこれまでの私の改革の経験を活かします。

【労働市場改革】

- 個人にとっても企業にとっても躍動感ある労働市場を創り出します。
- 男女の賃金格差及び正規・非正規雇用の格差を是正し同一労働同一賃金同一待遇を徹底します。
- 世帯収入を増やすため、労働時間調整の原因である「年収の壁」をつくっている控除・手当・保険料を、時間をかけて縮小、廃止します。

【投資拡大ができる環境整備】

- 規制改革を断行し、民間主導の投資環境を創り出します(自動運転、スマートグリッド、GX、廃棄物・循環型経済)。
- 企業の挑戦を後押しするため、経営者による個人保証の廃止を徹底します。

【財政】

- 「平時の改革、有事の財政出動」を原則とした経済財政運営を行うべく、有事のための財政余力、金利のある新常态を踏まえ、規律ある財政を取り戻します。

【エネルギー】

- 増加が予測される電力需要に対応するために、再生可能エネルギーの導入を最大限促進するとともに、安全が確認された原発の再稼働を進めるほか、現時点で可能性のあるエネルギー技術を総動員します。

【持続可能な農林水産業】

- 持続可能な農林水産業を確立するために人を育て、農地や林地、沿岸海域を守り整備します。
- 緊急時に国内供給に振り向けられるよう、主食米の生産拡大を促し、平時における米の輸出拡大と小麦粉の米粉への転換を図ります。

社会保障

今こそ、現役世代の負担を軽減する

社会保険料が「現役世代の賃金課税」となっているのではないかと、という指摘が多く寄せられてきました。「前期高齢者納付金」と「後期高齢者支援金」が現役世代に重くのしかかっていることを考慮して、応能負担の観点から世代間移転のあり方を検討します。また、社会課題が集中する厚労省を厚生と労働に分割し、それぞれ専任の大臣を設置します。

- デジタルを活用して真に困っている人をタイムリーに見つけて、行政からプッシュ型で支援できるデジタルセーフティネットを創ります。
- 医療・介護DXを更に進めることで、人手不足の中でも活力ある健康長寿社会を実現し、医師確保計画の深化、医師の確保・育成、実効的な医師配置により、日本中どこでも確実に医療を受けられるようにします。

デジタル

今こそ、デジタルの力で一人ひとりに寄り添う

「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を進め、一人ひとりの手続きの負担を軽減します。

- 「子育てDX」やオンライン診療の充実など、デジタル技術を駆使した子どもや高齢者のサポートを全国展開していきます。
- AI社会でのディスインフォメーションをはじめとするネット上の偽・誤情報や誹謗中傷が世界的な課題となっていることを踏まえ、AIガバナンス・デジタル外交をリードします。
- 効率的なデジタル化のために民間事業者間の共創分野について行政が積極的に調整します。

教育・研究

今こそ、誰もが学びやすい環境を

エビデンスに基づいて一人ひとりに合った学びを推進すること、大学卒業後一定の年収になってから返済を始める「出世払い」の学費支援を拡充すること、必要な制度の見直しを進めます。

- 国際的な教育水準に準拠したカリキュラムや、先進的なカリキュラムを備えた学校を政府としても応援し、教育の複線化を図ります。
- 個別補助金など短期的な資金を、安定的に研究を続けられる大学運営費交付金に振り替えます。

防災

今こそ、災害に強い社会をつくる

激甚化、頻発化する自然災害。まさに日本の有事の一つです。「防災4.0」(行政だけでなく一人ひとりが災害のリスクと向き合う考え方)により災害に強い社会をつくります。霞が関に災害対応の経験のあるスタッフを増やすことも大事です。

- 各省庁の若手のエースに防災対応の仕事を経験させ、将来、それぞれの省庁の災害対応の指揮を執れるように育てます。
- 発災前のリスクを可視化したり、デジタルツールを活用して被災者に寄り添った避難所運営を可能にするなど、復旧・復興にも役立つ防災DXを実現します。
- 地域防災の担い手としての消防団の活動を支援します。

危機管理

今こそ、食糧・燃料・医療の危機を防ぐ

食糧、燃料、薬、ワクチンの自給率は決して高くありません。食糧、燃料、医療、3つの「りょう」を守り、あらゆる危機に備えます。

- 首都機能のバックアップ体制を構築します。
- 南西諸島の物流インフラを強化します。
- 日本周辺での有事に備えた体制整備を行います。

政治改革

今こそ、誰もが参画しやすい政治をつくる

国政選挙・地方選挙の被選挙権を18歳へ引き下げます。また、オンライン投票に向けた準備を進めます。倫理的課題については、国会で党議拘束を外して採決できるようにすることで政策実現のスピードを上げます。

- 女性議員が活躍しやすい環境を整備したうえで、女性候補者の育成と、女性議員の登用を進めます。

働き方改革

今こそ、多様な働き方を支えていく

「人」を主役としたさらなる働き方改革を目指すため、真に自らの意思で働きたいと思う人については、命と健康の確保を前提とした上で、思う存分働けるような選択肢を広げる働き方の改革を行います。同時にブラック企業や意に添わない長時間労働は撲滅します。

河野太郎

略歴

1963年1月10日生
1985年 米国ジョージタウン大学卒
1996年 衆議院議員初当選(9期)
2002年 父親に肝臓を移植
2008年 衆議院外務委員長
2009年 議員立法で提出した臓器移植法改正案成立
2015年 国家公安委員長、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全、規制改革、防災)
2017年 外務大臣
2019年 防衛大臣
2020年 行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、規制改革)
2021年 ワクチン接種推進担当兼務
2022年 デジタル大臣、内閣府特命担当大臣(デジタル改革、消費者及び食品安全)、国家公務員制度担当
2023年 デジタル大臣、サイバーセキュリティ担当、デジタル行政改革担当、デジタル田園都市国家構想担当、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣(規制改革)

今こそ、〇〇する

党員の皆さんの〇〇をお聞かせください。一緒に改革を進めましょう。
有事の今こそ、河野太郎とともに。